

第Ⅲ期子ども・子育て支援事業計画策定のための アンケート調査にご協力ください

—凡例—

必 : 国の必須設問 **任** : 国の任意設問 **独** : 富津市独自設問

青字 : 量の見込みの推計上必要な設問

△ : これまでの実績値等により量の見込みを推計



「ふっつん」

皆様には、日頃から市政にご協力とご理解をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、今後の教育・保育・子育て支援の方向性を定める「第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画」(2025年度～2029年度)の作成にあたり、子育て世代の皆さまの子ども・子育て支援に関する利用希望・ご意見を把握したく、アンケートを実施することにいたしました。

このアンケートは、就学前の子ども保護者の方を対象にしています。**きょうだいなどで、このアンケート用紙が複数届く場合がありますが、お子さん一人ひとりの利用希望や状況を把握するため、できる範囲で結構ですので、それぞれのお子さんについてご回答ください。**

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することはありません。また、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

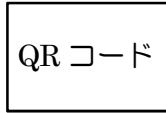
設問も多く大変恐縮ですが、富津市を安心して子育てのできるまちとしていくために必要な調査ですので、ご協力をお願いいたします。

令和6年●月

富津市長 高橋 恭市

【ご回答に当たってのお願い】

- アンケートには、宛名のお子さんの保護者の方が記入してください。アンケートへの回答は、アンケート用紙にご記入いただくか、アンケート回答専用フォームからご回答ください。
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません)
- ご回答は、選択肢に ○ をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 質問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で ○ をつけてください。
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある () 内には、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間(時刻)を記入していただく場合は、24時間制(例:午後6時→18時)で、記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、●月●日(●)までにご投函いただくか、●月●日(●)までに通園している園にご提出ください。



ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

富津市健康福祉部こども家庭課子育て支援係 0439-80-1256

調査実施の趣旨とその目的

市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的な給付・事業に取り組んでいます。（平成 27 年度から実施）。

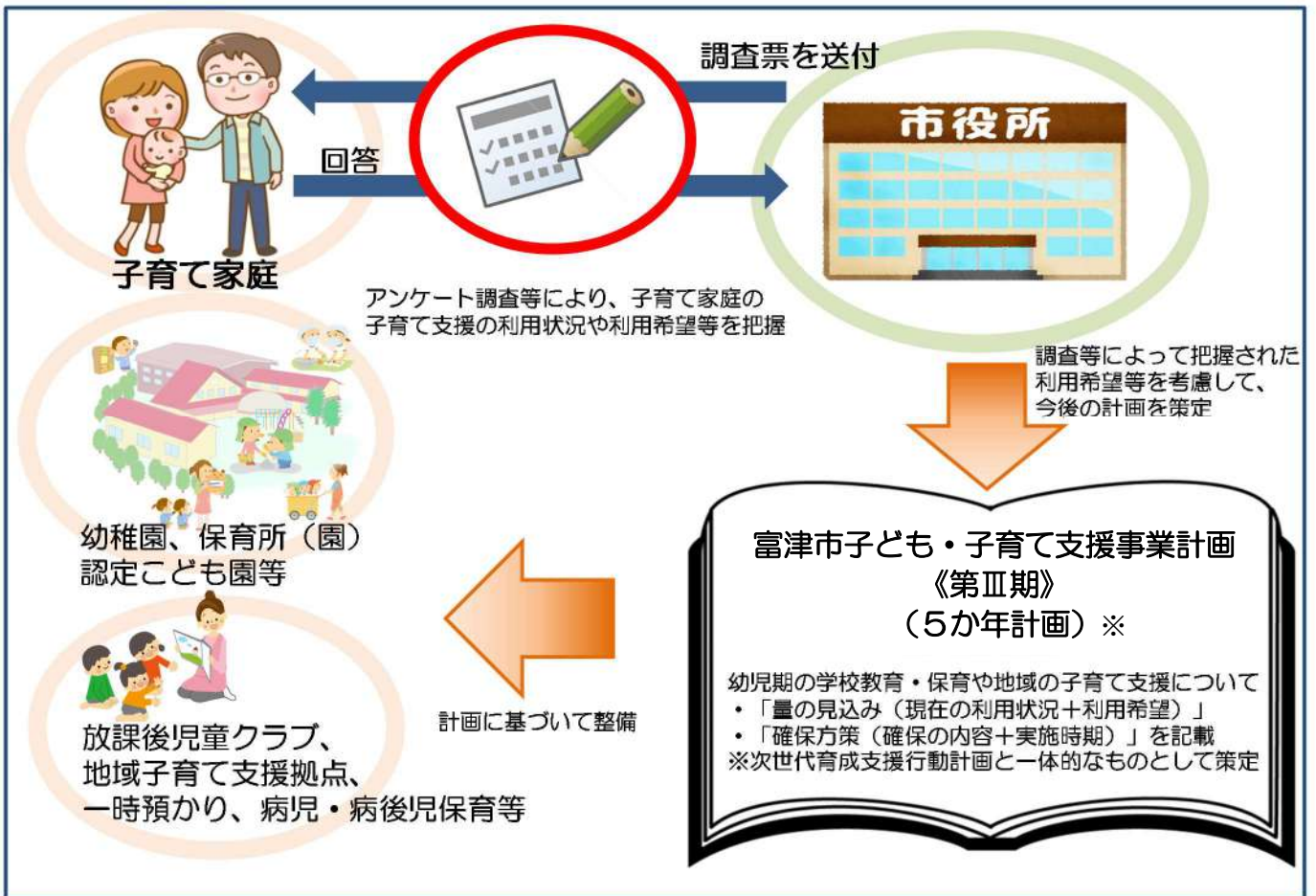
本調査は、2025 年度～2029 年度の 5 年間を対象とした「第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画」において確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、子育て世代の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- 幼稚園： 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- 保育所（園）： 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- 認定こども園： 幼稚園と保育所（園）の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- 子育て支援： 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援の意味で用いています
- 教育： 家庭での教育を含めた広い意味と幼児期における教育の意味で用いています
- 教育・保育事業： 定期、非定期を問わず幼稚園、保育所（園）、認定こども園等に通わせたり、預けることで教育・保育等を行う事業

市の取り組みについてうかがいます。

問1 市は富津市子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援に取り組んでいます。市の子育ての環境や支援に対する満足度をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

満足度が低い	←—————→			満足度が高い
1	2	3	4	5

お住まいの状況についてうかがいます。

問2 お住まいの地区はどこになりますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 富津地区	2. 飯野地区	3. 青堀地区	4. 大貫地区	5. 吉野地区
6. 佐貫地区	7. 湊地区	8. 天神山地区	9. 竹岡地区	10. 金谷地区
11. 環・関豊地区				

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問3 宛名のお子さんの生年月を口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

平成・令和 □□年□□月生まれ

問4 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。

きょうだい数 □人

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 母親	2. 父親	3. その他()
-------	-------	-----------

問6 問5で「1. 母親」または「2. 父親」に○をつけた方にうかがいます。⇒該当しない方は問7へこの調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。※お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他()
----------	---------	---------	----------	-----------

封筒の宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる／ある ⇒ **問9-1へ** 2. いない／ない ⇒ **問10へ**

問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|--------------------------------------|--------------|------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 | 3. 近所の人 |
| 4. 子育て支援センター | 5. 保健所 | 6. 保育所(園)・認定こども園 |
| 7. 幼稚園 | 8. 民生委員・児童委員 | 9. かかりつけの医師 |
| 10. 市役所の子育て関連窓口(こども家庭課・保育課・健康づくり課など) | | |
| 11. その他() | | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。



問 10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみにお答えください。（①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

	①母親	②父親	
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1	⇒ 問10-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5	⇒ 問12へ
6. これまで就労したことがない	6	6	



問10-1 問10で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。（当てはまるもの1つに○）

	①母親	②父親
1. 主に昼間の就労	1	1
2. 主に夜間の就労	2	2
3. 昼間・夜間の就労、いずれもある	3	3



問 11 問10で「3. または4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。
⇒該当しない方は 問13へ

フルタイムへの転換希望はありますか。（①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

	①母親	②父親
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	3	3
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

必 問 12 問 10 で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 ⇒該当しない方は 問 13 へ

就労したいという希望はありますか。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○) また、該当する□内には数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)

	①母親	②父親	
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1	1	⇒ 問 13 へ
2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳になったところに就労したい	2	2	
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	3	3	⇒ 問 12-1 へ

問 12-1 問 12 で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。

希望する就労形態お答え下さい。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	①母親	②父親	
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	1	1	⇒ 問 12-3 へ
2. パートタイム、アルバイト等	2	2	⇒ 問 12-2 へ

必 問 12-2 問 12-1 で「2. パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいます。

1週間あたりの就労希望日数、1日あたりの就労希望時間をご記入ください
※□内に数字でご記入ください。(数字は一桁に一字)

	①母親	②父親
1週間あたり	□ 日	□ 日
1日あたり	□□ 時間	□□ 時間

独 問 12-3 問 12 で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。
就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	①母親	②父親
1. 保育所(園)・認定こども園(保育利用)の保育料が高く利用できないため	1	1
2. 希望する保育所(園)・認定こども園(保育利用)に空きがないため	2	2
3. 自分の知識、能力に合う仕事がないため	3	3
4. 賃金や休暇等、希望する条件に合う仕事がないため	4	4
5. 家族の考え方(親族の理解が得られない)や介護等、就労する環境が整っていないため	5	5
6. その他()	6	6

独 問13 前年の世帯年収（総支給額）はおおよそいくらでしたか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100～200万円未満 |
| 3. 200～400万円未満 | 4. 400～600万円未満 |
| 5. 600～800万円未満 | 6. 800～1,000万円未満 |
| 7. 1,000万円以上 | |

独 問14 あなたの世帯では、おおむね1年の間に、経済的な理由で、次のような経験がありましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---------------------------------|
| 1. 必要な食材が買えなかった |
| 2. 電気・ガス・水道料金を滞納した |
| 3. 公的な保険料（健康保険・介護保険・年金）や税金を滞納した |
| 4. 家賃や住宅ローンを滞納した |
| 5. お子さんのためのもの（服・靴・本など）を買えなかった |
| 6. お子さんを遠足などの行事に参加させることができなかった |
| 7. お子さんの給食費や保育料を払うことができなかった |



**宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の
利用状況についてうかがいます。**

必 問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。
(あてはまる番号 1 つに○)

1. 利用している ⇒ 問 15-1 へ	2. 利用していない ⇒ 問 16 へ
----------------------	---------------------

問 15-1 ~ 問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
⇒該当しない方は 問 16 へ

必 問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまる番号 1 つに○)

1. 幼稚園	2. 保育所(園)
3. 認定こども園	4. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
5. その他 ()	

必 問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、
希望としてはどのくらい利用したいですか。

※1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□内に数字でご記入ください。
※時間は、必ず(例)08時~18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり □ 日	1日当たり □□ 時間 (□□ 時~ □□ 時)	
-----------	---------------------------	--

(2) 希望

1週当たり □ 日	1日当たり □□ 時間 (□□ 時~ □□ 時)	
-----------	---------------------------	--

任 問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所の地区はどこになりますか。(あてはまる番号 1
つに○)

1. 富津地区	2. 飯野地区	3. 青堀地区	4. 大貫地区
5. 吉野地区	6. 佐貫地区	7. 湊地区	8. 天神山地区
9. 竹岡地区	10. 金谷地区	11. 環・関豊地区	12. 君津市
13. 木更津市	14. 袖ヶ浦市	15. その他	

任 問 15-4 今後、利用したい教育・保育事業の実施場所の地区はどこになりますか。(あてはまる番号 1
つに○)

1. 富津地区	2. 飯野地区	3. 青堀地区	4. 大貫地区
5. 吉野地区	6. 佐貫地区	7. 湊地区	8. 天神山地区
9. 竹岡地区	10. 金谷地区	11. 環・関豊地区	12. 君津市
13. 木更津市	14. 袖ヶ浦市	15. その他	

任 問 16 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。 ⇒該当しない方は 問 17 へ

利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

※「8」に○をつけた場合は、年齢を□内に数字でご記入ください。

1. 利用する必要がない
(「子どもの教育や発達のため」、「子どもの母親か父親が就労していない」などの理由で)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため (歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 ()

必 問 17 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|---|---|
| 1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用)
〔利用料：月額 19,800 円～26,000 円〕
園によって異なります。 | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち
定期的な利用のみ)
〔利用料：園によって異なります。〕 |
| 3. 保育所(園)
〔利用料：0 円～67, 000 円〕
年齢や市民税課税状況によって異なります。 | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
〔利用料：0 円～67, 000 円〕
年齢や市民税課税状況によって異なります。 |
| 5. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設)
〔利用料：各施設が設定します。〕 | 6. ファミリー・サポート・センター
(子どもの預かり等の援助を行いたい方と援助
を希望する方が会員となり、有料で子育てを支
え合うもの)
〔利用料：1 時間あたり 700 円程度〕 |
| 7. その他 () | |

**宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の
利用状況についてうかがいます。**

 **問 18 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援センターなどを利用しているまたは利用したことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）**

※おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

※利用した保育所（園）は、主に利用したところをカタカナ1つに○

1. 地域子育て支援センター（親子が集まり、子どもを遊ばせたり、相談ができる場）

1週当たり□回 もしくは 1ヶ月当たり□回 程度

利用したい地域子育て支援センター ア. あおぞらハウス（青堀保育園）

イ. もうひとつのお家（和光保育園）

ウ. 富津市地域交流支援センター「カナリエ」

2. その他、保育所（園）で実施している事業（園庭開放など）

1週当たり□回 もしくは 1ヶ月当たり□回 程度

利用した保育所（園）

ア. 飯野 イ. 吉野 ウ. 佐貴 エ. 中央 オ. 竹岡 カ. 金谷

キ. 峰上 ク. 富津 ケ. 青堀 コ. 和光 サ. 大貫

3. 利用していない

 **問 19 地域子育て支援センターについて、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（あてはまる番号1つに○）**

※おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが利用したい

1週当たり□回 もしくは 1ヶ月当たり□回 程度

2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい

1週当たり 更に□回 もしくは 1ヶ月当たり 更に□回 程度

3. 利用日数を増やしたいとは思わない

4. 新たに利用したいとは思わない（理由：)

独 問 20 地域子育て支援センターにどんなことを求めていますか。またはどうしたら行きたくなりますか。
(主にあてはまる番号3つまで○)

- | |
|--|
| 1. 土日祝日の開設 |
| 2. 長時間の開設（17 時以降） |
| 3. 発育に関する相談対応 |
| 4. 子育て相談や子育て講座の開催 |
| 5. 保護者の心身に関する相談対応 |
| 6. 利用できる子育て支援サービス情報の提供 |
| 7. 親子や地域の人と交流できるイベントの開催 |
| 8. その他（) |

任 問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

(※①～④の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○)

事業名	A		B		C	
	知っている		これまでに利用したことがある		今後利用したい	
①ファミリー・サポート・センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②産前産後ヘルパー派遣事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③子育て短期支援事業 (ショートステイ・トワイライトステイ) ※	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④子育ての話何でも聴きます窓口	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

※…保護者の就労や疾病等の理由により、家庭でお子さんを養育することが一時的に困難な場合にお子さんをお預かりする事業



子どもの遊び場の利用状況についてうかがいます。

独 問 22-1 児童遊園地（5 か所）や子どもの遊び場（20 か所）について知っていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

※児童遊園地・子どもの遊び場の所在地は、市のホームページの「～子育て▶子育ての支援▶児童遊園地」に一覧があります。

URL → <http://www.city.futtsu.lg.jp/0000000326.html>

QR コード

独 問 22-2 児童遊園地（5 か所）や子どもの遊び場（20 か所）をこれまでに利用したことがありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことはない |
|--------------|--------------|

独 問 22-3 児童遊園地（5 か所）や子どもの遊び場（20 か所）を今後利用したいですか。（これまで利用したことがある方も含む）。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない⇒ 問 23-2 へ |
|----------|-----------------------------|

独 問 23-1 問 22-1 もしくは問 22-2 で「1. 知っている」、「1. 利用したことがある」と答えた人に伺います。

今後何を望みますか？（主にあてはまる番号 3 つまで○）

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 設備、遊具の充実 | 2. 駐車場の整備・拡大 |
| 3. 安全、衛生面の向上（例： | ） |
| 4. 球技等をできるようにする | 5. 特に望むものはない |
| 6. その他（ | ） |

独 問 23-2 問 22-3 で「2. 利用したくない」と答えた人に伺います。⇒該当しない方は 問 24 へ遊び場を利用したいと思わない理由は何ですか。（主にあてはまる番号 3 つまで○）

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. アクセスが良くない | 2. 駐車場が少ない |
| 3. 設備・遊具が少ない | |
| 4. 安全、衛生面に問題がある（例： | ） |
| 5. 球技等をする人がいて危ない | |
| 6. その他（ | ） |

独 問 24 身近な地域でお子さんが過ごせる場所としてどのようなところを望みますか。(主にあてはまる番号3つまで○)

1. 身近な小さな公園や遊び場
2. ボール遊びなどができる公園等
3. 親子で安全に水遊びできる公園等
4. 雨天でも利用できる遊び場
5. 遊具が充実した公園や遊び場
6. トイレの設置やオムツ替えのスペースがある公園等
7. 授乳する場所や設備がある公園等
8. スポーツ競技のできるグラウンドや大きな公園等
9. 木や池があり昆虫や小鳥もいる自然を残した公園等
10. 子どもたちに遊びを教えてくれる指導員のいる児童館等
11. 公共施設の中に子どもの遊べるスペース
12. 子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主的な活動などができる場
13. その他 ()

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休業中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。



問 25 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)。(あてはまる番号1つに○)

※希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。
(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。(数字は一枠に一字)

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	}	→	利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
---	---	---	-----------------------------

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	}	→	利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
---	---	---	-----------------------------



問 26 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。(P. 8 問 15-1で「1. 幼稚園」に○をつけた方)
⇒ 該当しない方は問 27へ

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

※希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。
(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。(数字は一枠に一字)
※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい	}	→	利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
--	---	---	-----------------------------



問 26-1 問 26で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
⇒ 該当しない方は問 27へ

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 定期的に仕事をしているため	2. 週に数回仕事が入るため
3. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	4. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
5. 息抜きのため	6. その他 ()

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育事業を利用する方のみ)**



問 27 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（P. 8 問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。 ⇒ 該当しない方は問 28 へ

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで登園できなかったことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. あった ⇒ 問 27-1 へ 2. なかった ⇒ 問 28 へ



問 27-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字) (半日程度の場合も1日と数えます)

1年間の対処方法	日数	
1. 父親が休んだ	□ □ 日	⇒ 問 27-2 へ
2. 母親が休んだ	□ □ 日	
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日	
4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	□ □ 日	⇒ 問 28 へ
5. 病後児保育を利用した	□ □ 日	
6. ベビーシッターを利用した	□ □ 日	
7. 子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日	
8. その他 ()	□ □ 日	



問 27-2 問 27-1 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。⇒該当しない方は 問 28 へ

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(あてはまる番号1つに○)

※日数についても□内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

※病後児保育は、富津保育園、カナリエで実施しています(病後児：回復期にあって、集団保育等が困難な児童)。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい → □ □ 日 ⇒ 問 28 へ
 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 27-3 へ



問 27-3 問 27-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない | |
| 4. 利用料がかかる・高い | 5. 利用方法がわからない |
| 6. 親が仕事を休んで対応する | 7. その他 () |



問 29 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。(あてはまる番号・記号すべてに○)

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。(数字は一桁に一字)

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	□ □ 日
ア 買物、子どもや親の習い事、リフレッシュ目的等		□ □ 日
イ 学校行事、子どもや親の通院等		□ □ 日
ウ 不定期の就労		□ □ 日
エ その他 ()		□ □ 日
2. 利用したいとは思わない	/	



問 30 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを預りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含まれます)。(あてはまる番号・記号すべてに○)

※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。(数字は一桁に一字)

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア 親族・知人にみてもらった	□ □ 日
	イ 子育て短期支援事業(ショートステイ、トワイライトステイ)を利用した ※保護者の就労や疾病等の理由により、家庭でお子さんを養育することが一時的に困難な場合にお子さんをお預かりする事業	□ □ 日
	ウ 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	□ □ 日
	エ 子どもを同行させた	□ □ 日
	オ 子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
	カ その他 ()	□ □ 日
2. なかった	/	



問 31 現在国では、親が就労していなくても子どもを保育所(園)などに預けることができる「こども誰でも通園制度(仮称)」の導入を進めています。

月10時間程度の利用枠の中で、保育所(園)や幼稚園に時間単位で通園が可能となった場合、利用したいと思いますか。

1. 利用したい
2. 利用したいとは思わない
3. わからない

**宛名のお子さんが年長児(5歳・6歳)の方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方の希望をうかがいます。**

⇒ 5歳未満の方は、問 33 へ



問 32 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）や夏休みなどの長期の休暇中の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。（低学年・高学年のそれぞれ、主に当てはまる番号3つまでに○）

場所	1～3年生	4～6年生
1. 自宅	1	1
2. 祖父母宅や友人・知人宅	2	2
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	3	3
4. 放課後子ども教室 ※	4	4
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	5	5
6. ファミリー・サポート・センター	6	6
7. その他（公民館、公園など）	7	7

※…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が利用できます。



問 32-1 問 32 で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」と答えた人に伺います。

⇒該当しない方は 問 33 へ

宛名のお子さんについて、土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。（低学年・高学年のそれぞれ当てはまる番号すべてに○）

時期	1～3年生	4～6年生
1. 土曜日	1	1
2. 日曜・祝日	2	2
3. 長期の休暇期間中（事業の利用には、一定の利用料がかかります）	3	3

子どもの虐待についてうかがいます。

問 33 法律によって、すべての人に「虐待を受けたと思われる子どもを発見した場合に通告する義務」がありますが、児童虐待の通告についてご存知のものを全て選択してください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 「児童虐待の疑いがある」時にも通告できる
2. 通告者は特定されないように配慮される
3. 匿名でも通告ができる
4. 相談・通告したが、虐待ではないと判明した場合でも責任を追及されることはない
5. 虐待の通告後は、児童相談所等が家庭訪問等で安全の確認を行う
6. その他（具体的に）()
7. 知らない

問 34 あなたが児童虐待を受けた（その疑いを含む）と思われる子どもを見たり、聞いたりした時にとる対応として、あてはまるものを全て選択してください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 児童相談所に通告する
2. 市役所（こども家庭課）に通告する
3. 児童相談所虐待対応ダイヤル(189 いち・はや・く)に通告する
4. 地域の民生委員・児童委員・主任児童委員に相談する
5. 保育所（園）・認定こども園・幼稚園・学校に相談する
6. 警察に通報する
7. 友人・知人に相談する
8. 自分でその子どもに声をかける、相談にのる
9. 自分でその子どもの保護者に声をかける、相談にのる
10. その他（具体的に）()
11. 特に何もしない
12. わからない

問 35 次の児童虐待防止の啓発活動のうち、効果的であると思う取り組みを3つ選択してください。(あてはまる番号3つまで○)

1. 市の広報紙
2. 市のホームページ
3. 市が配布するパンフレットや冊子
4. 市主催の市民向け講演会や研修会
5. 地区の回覧板による周知
6. 公共機関や店舗等にポスターを掲示
7. 学校の授業
8. 保育所（園）・認定こども園・幼稚園による保護者向け懇談会
9. その他（具体的に）()

今後希望する子育て支援サービスについてうかがいます。

問 36 今後、充実を希望する子育て支援サービスは何ですか。(主にあてはまる番号3つまで○)

独

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 未満児(0~2歳児)保育の充実 | 2. 延長保育の充実 |
| 3. 休日保育の充実 | 4. 病児・病後児保育の充実 |
| 5. 乳幼児健診の充実 | 6. ファミリー・サポート・センターの充実 |
| 7. 子育て世代への訪問事業の充実 | 8. 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実 |
| 9. 悩みを相談できる支援体制の充実 | 10. 親子や地域の人との交流の場の創設 |
| 11. 地域の人による支援 | 12. 病気や障がいなどへの専門的な支援 |
| 13. 男性の育児・家事参加の意識啓発 | 14. 子育て支援情報の充実 |
| 15. 保育料の軽減の充実 | 16. 子どもの就学に係る費用の軽減 |
| 17. 住宅確保のための支援 | 18. 一時的に必要な資金の貸与 |
| 19. その他(具体的に: _____) | |

ヤングケアラーについてうかがいます。

問 37 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

独

- | |
|----------------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容も知っている |
| 2. 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3. 聞いたことはない |

問 38 家族や親族、または友人・知人のお子さんにヤングケアラーと思われるお子さんはいますか。(あてはまる番号1つに○)

独

- | |
|------------------|
| 1. 家族・親族にいる |
| 2. 友人・知人のお子さんにいる |
| 3. いない・わからない |

問 39 ヤングケアラーに関して、相談しやすい環境づくりとして必要なことはどんなことだと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○)

独

- | |
|---------------------------|
| 1. ヤングケアラー専用の相談窓口があること |
| 2. 学校に相談窓口があること |
| 3. 電話やメール、SNSでの相談が可能であること |
| 4. 24時間いつでも相談できること |
| 5. その他(_____) |
| 6. 特にない |



※ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことです。状況によっては、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

(参考：こども家庭庁資料)



問 40 最後に、妊娠期を含め子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

〈郵送の場合〉

同封の返信用封筒（切手は貼らず）に入れ、●月●日（●）までにご投函ください。

〈通園している園に提出する場合〉

●月●日（●）までに通園している園にご提出ください。

ありがとうございました！

